

令和2年度 特色ある道徳教育推進校（心の教育推進キャンペーン実施校）
県立流山北高等学校

研究主題

人間としての在り方生き方を主体的に探求する生徒の育成

取組1 「道徳」を学ぶ時間の指導の工夫

工夫1 教材の視覚化



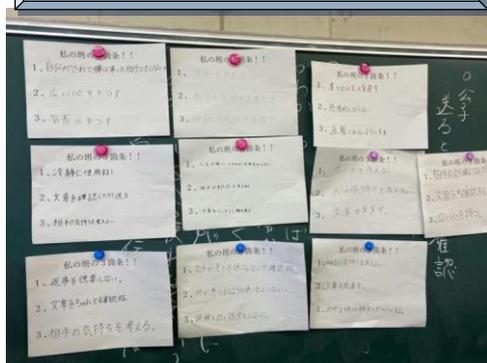
- ICT 機器を各教室で利用できるように1学年の教室があるフロアに視聴覚機器や「明日への扉」などの道徳資料が入る倉庫を設置している。
- 可能な限り、導入の際に映像教材の使用をしている。本校の生徒に必要な教材を作成しているために、毎年、使用することができる。

工夫2 話し合いの活性化



- 教師の問いかけを工夫することで、わかりやすい表現を使用している。それによって生徒が物怖じせずに意見を発表する。
- あらかじめグルーピングに工夫をすることで話し合いがスムーズに行え、他の生徒の意見と自分の意見をまとめることができる。

工夫3 ワークシートの活用



- 自分の考えを必ず記入できるように作成する。また、学習の最後に「感想」を書くことで振り返りをするようにしている。
- ワークシートを使ってグループでのまとめをした後に、黒板にグループごとに掲示することで全体での共有へとつなげることができる。

取組 2 学校教育全体を通じた道徳教育の充実

本校での「道徳」を学ぶ時間の主な授業を紹介する。

- (1) 読み物教材「明日への扉」単元9「電車やバスで」の活用
社会の一員として責任を果たす人間になるために、公共の場での自分のふるまい、他者への配慮について考える。
- (2) 読み物教材「明日への扉Ⅱ」単元16「償い」の活用
人間としての弱さを知り、苦しみなながらも克服する強さを持ち、「いのち」輝く社会を築くことに気づいて生きることの意義を考える。
- (3) 映像教材「青春のホイール」の活用
映像教材により、他者に対する敬愛と助け合いを、作者が具体的な周囲の人からの支えに気づきながら前向きに生きていく姿を見て、自らの気づきにつなげていく。
- (4) いじめについて考える教材の活用
共にいのち輝く社会を築くなかで「いじめをなくすためには」の教材を活用して自他の生命を尊重する精神を考えさせている。
- (5) SNSの安全な使用について考え・議論する道徳の実践
SNSの使用や依存により、人間関係のトラブルに巻き込まれることが多い高校生として、良好な人との関わりとは何かを考えて、行動できるようなきっかけにする。

本校の特色である「地域連携アクティブスクール」を推進するために、総合的な探究の時間や、特別活動の時間を有効に活用して道徳教育を実施している。

学び直し学習の徹底



基礎学習の科目化と繰り返し学習で学び直しをする。

習熟度別授業・少人数授業・T-T 授業



一人一人が理解できる授業を行う。

地域の人材・大学生によるサポート



隣接する福祉施設と連携しての介護体験の授業の実践をする。令和2年度はリモートによる授業を実施した。

キャリア教育



地域の人材や大学生との連携を通して、生徒の学力向上や進路実現を实践している。

主な成果と課題

- 「道徳」を学ぶ時間を担任だけでなく、教員全員で取り組んでいることで、生徒の本校で学ぶことの意味が「道徳」を学ぶ時間でも十分に理解できるようになった。
- 年間での全体計画の実施だけでなく、日々の学校教育のなかで、必要な場合に道徳の要素を取り入れることができるようにしていきたい。

授業実践事例

高等学校 第1学年 「道徳」を学ぶ時間指導演

令和2年11月12日（木）

1 主題名 未来につながる「いのち」－伝統や文化を見つめよりよい明日を築く－
（県の視点「つながる未来」）

2 ねらいと教材 「チャンスは自分の中にある」千葉県教育委員会道徳映像教材

自国について興味を深めようとすることや、異文化交流について考えたりしようとする心情や、グローバルな視点を養う。

3 主題設定の理由

新型コロナウイルスの感染流行により、私たちの生活は大きく変化した。人と接するときにはマスク着用が求められ、人と関わる機会を減らすためにオンラインの活用が増えている。また、感染拡大防止の観点から、人が海外と出入りすることは制限され、グローバル化とは正反対の状況が生まれている。しかし、この人類全体が直面している危機にさらされている今だからこそ、国際協力が喫緊の課題であると考え。ワクチンの開発・生産・接種での協力、経済活動の維持での協力などで、国際社会がお互いの考えや状況を理解したうえで、足並みを揃えていくことが必要であり、本来の意味でのグローバル化として、SDG'sの考え方の実践にもなるであろう。アフターコロナのグローバル社会を生きていく一員として、本校の生徒に国際協力の視点で、物事を考える力を養いたい。

本校には外国籍の生徒が数多く在籍している。教室内では日本語がわからず困っている友人を助ける姿や、身振りやスマホを利用して楽しそうに談笑している様子があり、日常的に異文化交流がなされている。そのうえで相手の国籍や立場や違いを理解して行動する力や、他者を思いやりながらグローバル社会のなかでの人権意識をさらに養う必要がある。

これらの状況にある本校の生徒が、この授業を通して、自国の伝統・文化を知り、自分自身のことを理解したうえでの国際理解を考えさせたい。そのために日本の文化や考え方を知ることが国際交流へとつながっていくと考える。

4 展開例

	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	世界のつながりの説明 1 「国際交流」という言葉から何を連想しますか。(各自で記入後にグループで) (5分)	・海外(旅行) ・外国人/観光客/友人 ・留学/ホームステイ ・外国語 ・コミュニケーション	○オリンピックの延期、コロナの影響のなかでも、世界とのつながりの大切さを説明する。 ○グループで話し合わせ、代表から左記のような例を引き出し板書する。

展開 40分	登場人物の簡単な説明 2 DVDの視聴 (15分)		<ul style="list-style-type: none"> ○オランダからホームステイで来たルーカスの気持ちを読み取る。 ○大輝の心の変化に注目し、視聴させる。
	※大輝が不機嫌な態度を取っているのはなぜでしょう。 (各自でワークシート記入) (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の国の文化について答えられず恥ずかしい。 ・文化を大事にしていなくて思われるのが嫌だったから。 ・むかついたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大輝の心境の変化を意識させる。 ○留学生に対して交流したい気持ちと恥ずかしさ、自国文化への意識の違いなど、大輝の心の葛藤を読み取らせる。
	※ルーカスが日本に来て大輝に伝えようとしたことは何でしょうか。 (各自でワークシート記入) (記入終了後に指名して板書) (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな日本について新しい発見があり、大輝に大切にしてほしい。 ・自国の歴史・文化を大切にしてほしい。 ・大輝の良さが十分に発揮されていないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○DVDのなかでルーカスが大輝に伝えようとしたことについて読み取らせる。 ○ルーカスの異文化交流への意識について考えさせる。 ○ルーカスの考え方が身近な国際交流につながることに気づかせる。
	3 DVDを見た後で「国際交流」とは、あなたにとって何をすることだと思えますか。 (具体的に何ができるか。) (5分) (各自で記入後にグループで) (5分) (発表) (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にとって身近な交流から始めること。 ・自分から積極的に関わり、行動することができる環境にする。 ・身の回りの歴史や文化を知ること。 ・いろいろな人の考え方に触れ、それを尊重すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特に「1」の時とどのように変化があったのかに注目させる。 ○グローバルな視点で考えることを意識させる。 ○自国の歴史・文化を知ることの重要さに気付かせる。 ○自分自身ができる小さいことから始める。
終末 5分	4 (振り返り) わかったこと、気づいたこと、新たに疑問に思ったことを書きましょう。(時間があればグループで振り返り発表) (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・自国や他国の歴史、文化について理解を深めることが大切なこと。 ・日本にいても国際交流はできると思った。 ・相手を知るだけが国際交流ではない。 ・恥ずかしがらずに行動することが大切なこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の前後での考え方の変化や価値観の変容に注目させる。 ○アフターコロナのグローバル社会の中で、普段から心掛けたいことについて意識を向けさせる。

5 授業の様子

(1) 板書



(2) 生徒の様子

